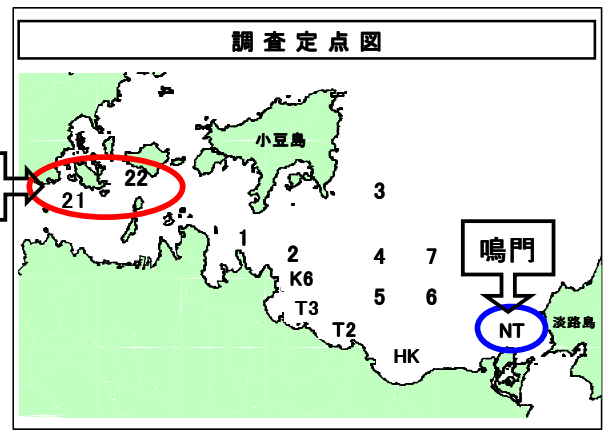


カタクチイワシ卵稚仔出現状況

(2009. 8- 2)

香川県水産試験場 宮川

TEL: 087-843-6511



備讃瀬戸

鳴門

調査方法

調査日: 8月21日

調査方法: 丸特ネットによる鉛直曳

調査定点: 播磨灘11定点+備讃瀬戸2点+鳴門1点(中旬のみ)

(調査定点図参照)

【カタクチ卵】 定点別出現数

年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	21	22	NT	11点平均値	14点平均値
2006.8.23	0	1	102	111	0	1	0	3	0	0	0				19.8	
2007.8.14	1	0	1	0	1	0	12	0	3	0	1				1.7	1.7
2008.8.20	0	0	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0.5	0.6
2009.8.21	0	0	0	0	2	38	0	17	0	13	0	0	0	21	6.4	6.5

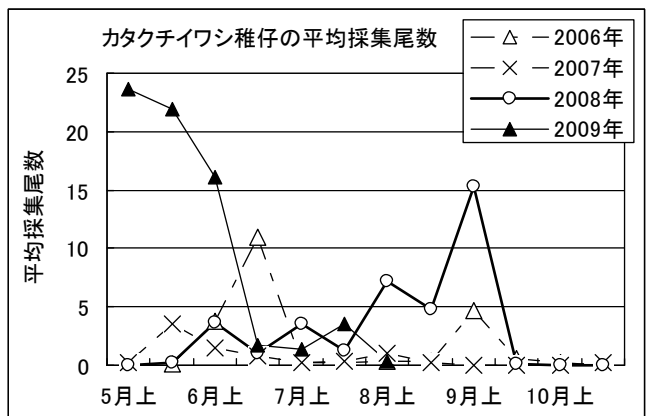
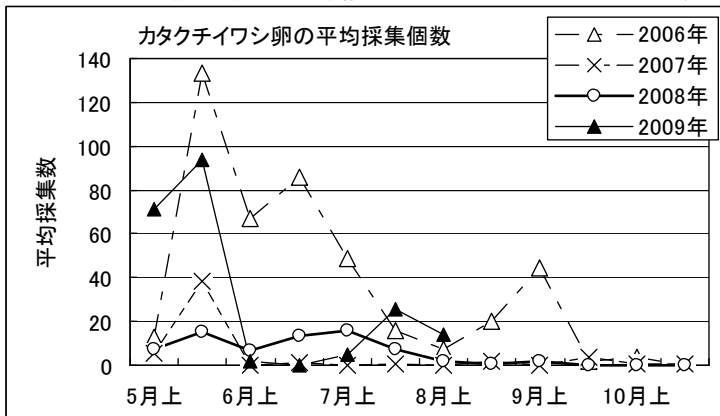
【カタクチ稚仔】 定点別出現尾数

年 定点	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	HK	T2	T3	K6	21	22	NT	11点平均値	14点平均値
2006.8.23	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0				0.4	
2007.8.14	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0				0.2	0.2
2008.8.20	0	1	0	8	2	13	27	2	0	0	0	0	5	9	4.8	4.8
2009.8.21	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0.2	0.1

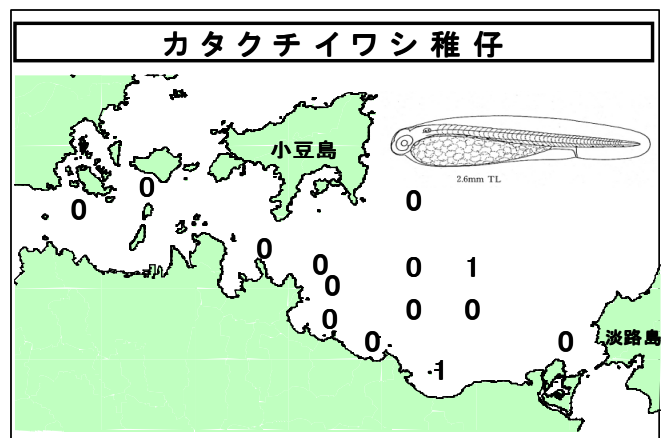
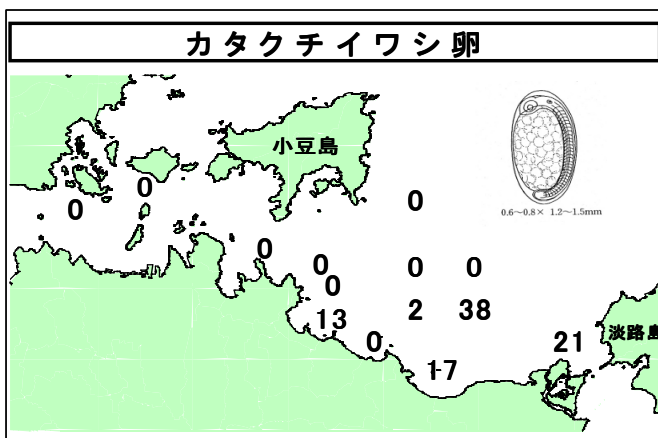
* 表中の「-」は未測定を表す。

* 11点平均値: 播磨灘11定点の平均値を表す(備讃瀬戸および鳴門を除く)。

* 14点平均値: 播磨灘11点+備讃瀬戸2点+鳴門1点の平均値を表す。



* グラフの値は播磨灘11定点における平均値を表す。



播磨灘11定点における卵の平均出現数は6.4個となり、昨年同時期を上回った。卵は鳴門海峡北と沿岸部を含む播磨南部での出現数が多かった。

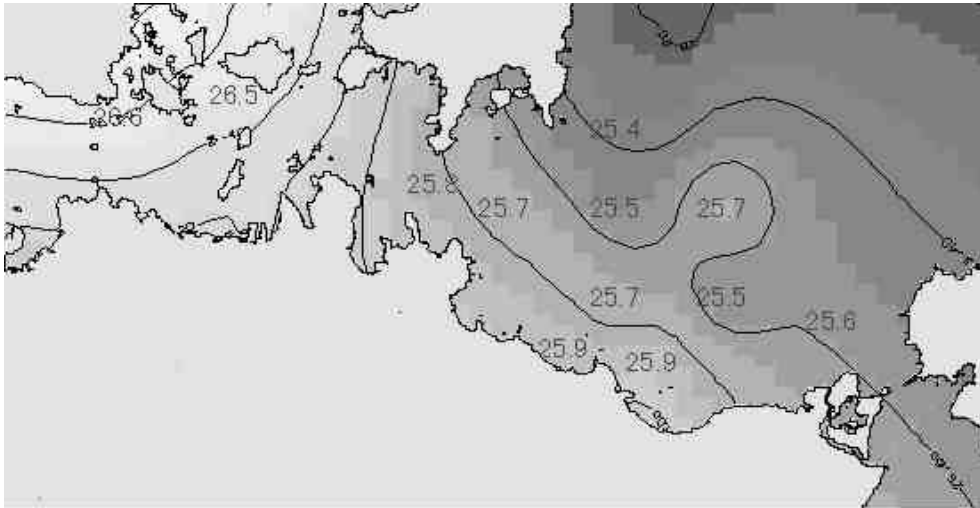
一方、稚仔の出現は平均で約0.2尾となり、昨年同時期を下回った。稚仔の出現は沖合いと引田地先でわずかに認められたのみで、播磨灘での稚仔の出現が少ない傾向を示した。

引田沖に設置した水温ブイ(午前9時)によると、6月中旬以降の水温は概ね平年並みに推移している。

【参考】

平成21年8月21日の海況

水温（水深10m層）（℃）



塩分（水深10m層）

